

# 平成18年度八重山群島病害虫発生予報第9号(12月予報)

## I 12月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	50%	40%	30%
平 年 並	30%	40%	40%
低い(少ない)	20%	20%	30%

(平成18年11月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

※1ヶ月予報に関する表示形式が変わりました。

地点別の平均値

要 素	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	19.8	22.4	17.7	130.9	95.8

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

## II 12月の発生予報

向こう1カ月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

### 八重山群島

#### 1 かぼちゃ

○モザイク病の防除対策

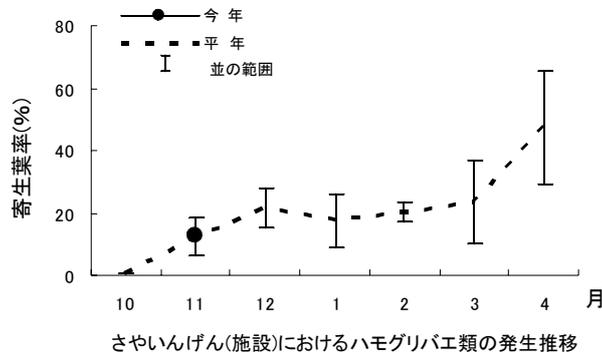
- a 本病の媒介虫であるアブラムシ類の飛来定着を防止するため、畝間に防風対策を兼ねたソルゴーなど障壁作物を植え付けるか、防虫ネット等の資材を利用する。
- b 発病株は感染源となるため、見つけ次第抜き取り、圃場外へ持ち出し処分する。ただし、他の株へ感染させないために、除去作業は管理作業の最後に行う。
- c 圃場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源となるので除草を行う

## 2 さやいんげん(施設)

### (1)ハモグリバエ類

発生程度 : 並  
予報の根拠

11月下旬の調査の結果、寄生葉率は12.8%(前年0%、平年12.3%)と平年並であった。



### 防除上注意すべき事項

- 入口、側窓は防虫ネット等を張り、施設内への飛来侵入を防ぐ。
- 摘葉等による残渣は成虫の発生源となるので、ビニール袋に入れるなどして施設外に持ち出し処分する。
- 多発すると防除が困難になるので、黄色粘着テープ等により早期に発見し、早期防除に努める。
- 天敵を利用する場合の薬剤防除は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
- 本種の発生源となる施設内外の雑草を除去する。

### ○チャノホコリダニの防除対策

- 11月下旬の調査の結果、一部の圃場で多発傾向であった。
- 摘葉等の残渣物はビニール袋に入れるなどして施設外に持ち出し処分する。ただし、作業は未発生圃場の作業を終えてから発生圃場の作業を行うようにする。
- 本種の発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 平成18年度病害虫発生予報第8号(平成18年11月1日付け)表紙参照

## 3 マンゴー

### ○チャノキイロアザミウマの防除対策

- 11月下旬の調査の結果、チャノキイロアザミウマの発生が多く圃場で認められた。
- この時期の新芽には花芽分化は起こらないことから、早めに新芽を剪定し、ビニール袋に入れるなどして圃場外に持ち出し処分する。
- 萌芽以降は薬害が出やすいため、それまでに薬剤防除を済ませる。



### 沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880、098-886-0227 FAX 098-884-9119
北 部 駐 在	〒905-0019 名護市大北1-16-15 TEL 0980-51-1537 FAX 0980-51-1538
宮 古 駐 在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40 TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八 重 山 駐 在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6 TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157